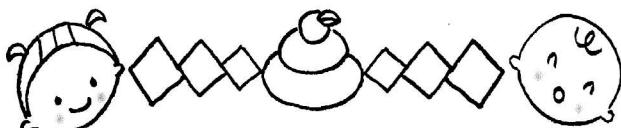


年末の年越しそば、お正月のお雑煮やおせち、日本の文化にふれる絶好の機会！ご家庭でもお子さんと餅つきをしたり、おせちを作ったり、その由来を調べたり、食を通して親子の絆を深めることはできましたか？1月11日（金）おせち料理のことを子どもたちに伝えながら給食で「子どもおせち」を食べたいと思います。ご家庭でもお子さんとおせち料理にどんな意味が込められているか話してみて下さい。昔から受け継がれてきた伝統を、子どもたちにしっかりと伝えていきたいです。

### 風邪に気をつけよう



#### 免疫力を高めよう

風邪やウイルスによる感染症が流行しやすい季節です。ビタミンが豊富なほうれん草や柑橘類、ポリフェノールが含まれるりんごや大豆、ごまなど、抗酸化作用のある食材は、ウイルスなどの外敵から身を守る役割があります。手洗い、うがいをしっかりとすることはもちろん、食事で体の免疫力を高める工夫もしていきましょう。



#### はしや食器を正しく持とう

はじめは上手に食べ物をはさめないかもしれません、大人が手本を見せたり、はさみやすい大きさのおかずを用意したり、毎日くり返していくことで、だんだんできるようになっていきます。同時に茶碗を持って食べる習慣もつけましょう。ご家庭でも声かけをお願いします。



◎今月のおすすめレシピは、ぶどうぐみさんに大人気だった、ブランボールを紹介します。

#### ○材料（幼児 1人分）

・ブランフレーク	15g
・油	3g
・マシュマロ	8g

#### ○作り方

- ① 鍋に油(1人2g)入れ火にかけ、マシュマロを加え溶かす。
- ② ボールの表面に油(1人1g)を塗り付け、ブランフレークを入れておく。
- ③ ②に①を入れて混ぜる。
- ④ 冷めないうちに、1人分ずつカップなどにわけ、丸めてカップにいれる。



#### 風邪のときの離乳食

風邪をひいて食欲がないときは、無理に食べる必要はありません。おなかの風邪をひいてしまったときは、うんちの固さに応じて食事を変えましょう。水のようなうんちのときはスープ、やわらかいうんちのときはお粥やりんごのすりおろしなどを。熱があるときは脱水症状に気をつけ、水分補給をしっかりおこないましょう。